

宇部市大字奥万倉ニツ道祖

岩戸神楽舞

～復活にむけて～



うべの里アートフェスタ 2019
ファイナーレ

令和元年

12月7日(土)

18:00～20:00(17:00開場)

【場所】

万倉ふれあいセンター
(多目的ホール)

※入場無料

※当日は『岩戸神楽舞弁当』の販売もあります！

万倉ふれあいセンター受付にて
17時～ (なくなり次第終了)

1個 1,000円(税別)

■主催 岩戸神楽舞復興委員会

■後援 宇部市

■協力

【舞・楽指導】ミュージカル山陽ありすの家

【衣装・キャラクターデザイン】宇部フロンティア大学付属香川高等学校生活デザイン科/

【面】(有)モデラ、デコクレイクラフト作家 小林安子/ 【和紙】小野観光推進協議会文化伝承部会/

【彫り物】切絵アートクリエイター 中村敦臣/ 【旗・赤間インク】mike to tama 代表 田中杏侑/

【岩戸神楽舞弁当】里山キッチン 霜降山カフェ

うべの里
アートフェスタ
Art Festa in Village of Ube

岩戸神楽舞

■復活への想い

ここふるさと万倉地域で、伝統ある山口県指定無形民俗文化財である「岩戸神楽舞」の継承が、2008年を最後に途絶え、私自身、忸怩（じくじ）たる思いを抱いていました。しかしながら、この度の復興事業で、万倉校区内外から多くの御支援をいただき、たくさんの御縁を結ぶことができましたことに心から感謝しています。この復興事業は、万倉地域の次世代を担う人材の育成にも大きく寄与することとなり、さらには校区外の方々との相互協力体制が構築できるなど、地域に及ぼす効果は、とても大きいと確信しています。これからは是非、多くの方々に万倉地域の「岩戸神楽舞」に興味を持っていただきたいと思っています。また、次世代への文化遺産の継承と、文化遺産を核とした地域活性化を目指して活動している“小さな地域の大きな挑戦”に対して、さらなる継続的なご支援をいただきますようよろしくお願い致します。



岩戸神楽舞復興委員会
会長 矢原久登

舞の次第は、太鼓・笛・摺鉦の五調子囃子に合わせて神楽舞の一番、二番、三番、三宝の舞、榊の舞、剣の舞と続き、祝詞の舞では奉納の祝詞を奏上します。以上各座の舞はいずれも採物の舞で、神のもつ採物によって悪魔切袂いの所作を中心とするものです。その間の神楽舞の二番には天邪鬼（随神）の滑稽が加わり、神楽舞と三宝の舞には掛け歌が伴います。三宝の舞と榊の舞の間には、独特の天蓋操作があり、神降臨の神態を摸出しています。ついで、岩戸の舞、姫の舞、鬼の舞の三座はそれぞれ天岩戸の神話を仕組んだ舞で、この神楽が岩戸神楽舞といわれるゆえんをなしています。



最後に弓の舞では、四方八方への特種な袂納めの呪術を帯びる弓の所作が行われ舞い納められます。この神楽舞が神への奉納舞である事で、神を拜して始め、神を拜して終わることは、基本法則です。

■順番（十種十三座）

種	座（演目）	別命	人員	衣装	面	採物	備考
1	神楽の舞 1番		1人	烏帽子直衣	—	鈴、扇	歌
	“ 2番	天邪鬼	2人	“	1人	“	歌、天邪鬼は反逆者
	“ 3番		1人	“	—	“	
2	三宝の舞		2人	“	—	鈴、三宝各2	
	天蓋操作		1人	“	—	天蓋	八方に操作する
3	鉦の舞		1人	“	—	鉦	
4	榊の舞	柴	2人	“	—	榊各1	
5	剣の舞	將軍	2人	“	—	剣各1	
6	祝詞の舞		1人	烏帽子直衣綿半衣	有	大幣、鈴	祝詞奏上、舞の由来と祈願
7	岩戸の舞	岩戸さぐり	1人	“	有	小幣、杖松明	岩戸の所在探査
8	姫の舞	姫宮天宇受女	1人	“、紫袴	有	榊、天蓋	大神招き出しの急調舞
9	鬼の舞	手力男	1人	無直垂鎧	有	“	
10	弓の舞		2人	烏帽子直垂、裾紋	—	弓剣各1	